

TAKE
FREE

横浜発！ 社会に貢献する人材育成、コミュニティ作り

コミュニティづくり マガジン 第3号

特集1

子供がつくる未来のために
大人ができる環境づくり



特集2

私がカウンセラーになったきっかけ
支援助言士の活躍 — Case003 あべ なおこ



一般社団法人
日本支援助言士協会®



↑ 皆で改善策を出し合っていく。

近年問題になっていた待機児童、その解消のための制度「子ども子育て支援（厚生労働省）」の支援金を元手に、企業主導型の保育園がここ3年間で乱立していった。その実態は、誰でも園長職に就けるような驚く程緩い基準。さらに巡回員不足に、「このままではいつ死亡事故がおこるか分からない」と、危機感をもった松山氏がリーダーシップをとって福岡氏、要田氏と共に「日本支援助言士協会・幼保事業部」を立ち上げた。

それは、適切な教育・療育・発達の支援がなされているか、各園を巡回しながら園内研修をすること、かわいそうな子供たちをつくらないための民間の外部評価機関だ。

現在、全国展開している「こどもサポート教室きらり（㈱クラゼミ）」や神奈川を中心に展開している「㈱キッズアプローチ」など、数か所の施設設を巡回している。

1巡目で訪問する施設の研修ではまず、1人1人に、「ここで働くに至った経緯をざっくりばらんな雰囲気です話して頂き、お互いのことを知る時」

「このままではいつ死亡事故が起こるかわからない。私に何かできることはないか。」

間を十分つくったのち、「日頃のもやもや」をふせん紙に書いてもらい、ホワイトボードに貼り付け、共有していった。その中で「改善できること・できないこと」に分け、中でも一番改善しやすいものをピックアップし、解決案を皆で話し合った。

例えばどんな些細な事でも、「気づくこと」で変わる。そして、それを改善の方向へと目を向けることが大きな事故を軽減できる手立てとなる。

質の高い教育・療育の向上のためには、このようなりスクマネージメント対策が基本となること、またそれ以前に、スタッフ間で建設的な話し合いが持たれることで、働き甲斐につながり、自分たちがアクションをおこすことで良い職場環境作りが実現することをレクチャーしていた。

松山氏の研修スタイルは、現場主義。1巡目で各施設の持つ個性を捉え、2巡目で以降では、その施設にマッチした研修進行にしていこうという。理論的な講義は、現場で働く方には伝わりにくいので、シンプル

ルかつ、スタッフから出た言葉を拾いながら、実例を元に研修を進めていくスタイルだ。

2巡目に訪問したある施設では、SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）のワークを丁寧に行った。子供たちへのトレーニングはもちろん、現場スタッフの関係性の中でのSSTのあり方を、具体的に可視化していった。

チームワークの良い施設では、専門的なケーススタディが行われ、子供の療育や教育に集中した話し合いが行えるようになる。また、将来の展望や目標などの発言は珍しくないという。

スタッフ一人一人の特性を摩擦なく引き出すことができ、チームとして取り組むべき体制作りの具体的な課題を、短時間で皆で意識化できる。何より第3者、外部からのアプローチであることが、これらがスムーズに行われるメリットだ。

一方で、内部からではそううまくはいかない事も良く知っている。だが、外部からであろうと内部へ



↑ 周りとの関係性を知るワーク。



↑ スタッフの発言に笑いもおこる。



↑ 意見交換で小さな気づきも拾い上げる。

からであろうと、困難に立ち向かう姿勢に躊躇は全く見えない。その強さはどこからくるのだろうか。

周辺を巻き込み、新しく立ち上げるパワーを持ち、この世の曇った景色をスカッと青空に変えてくれそうな勢いと使命感を持つ松山氏だが、意外や意外、幼少の頃はとても大人しい女の子だったという。

「とてもじゃないけど今のようにな前で話すようになるなんて考えられないような消極的な子でした。ただ怖いもの知らずの新しいものの好きではあったかな。小学生の頃、朝練午後練有りのそれはもう厳しい指導の『特別音楽クラブ』に所属していました。練習を重ね、コンクールで入賞したことが初めての成功体験になり、中学でも吹奏楽部に入部。音楽については自信がついていたので、高校では部長になりました。その辺りから、消極的だった性格から徐々にリーダーシップをとるような積極的な性格になりました。」

また生育環境もユニークだ。家には老若男女が集い、「いつも誰かがいることが当たり前」の光景だったという。時には家のお金がなくなる事件があつて警察沙汰になったが「しょうがない、しょうがない」と、犯人捜しをしない、「誰も排除しない」両親の方針に、幼い頃から触れ、ヨコの繋がりを自然に育んだ松山氏のアイデンティティは、その口調や言葉の節々から垣間見れる。

実際、松山氏との会話の中では、人の悪口を聞いたことがない。悪い所に目を向けないようにすることは容易ではないが、「誰も排除しない」精神で育った松山氏には息をするようなものなのだろう。また相談事は聴くが、噂話は一切しない、聴かない。そして意見の相違があつた時は、相手を否定せず「私はこう思うよ」とだけ伝える。また、嫌な事があつても明日はうまくいく、と思える楽観的な性格だという。そんな柔和な雰囲気、場の空気感を優しく奏でていく松山氏



- 1、会社の悪口は聞きません。
 - 2、人の悪口は話しません。
 - 3、相手を否定しません。
- 縦の関係ではなく、横の関係
“安心安全な環境で、建設的な対話をしていきましょう”

る約束事をしてもらう。「約束」と聞くと、若干緊張が走りがちだが、こういったものだ。

ではあるが、一方で非常にタフな一面もある。

現在、この幼保事業部の他、平日は主に保育園の園長を務め、また「勇気づけ保育士の会」を月に1度開催し、さらに2019年9月から、専門学校の講師も始めた。趣味として、トロンボーンやリコーダーを吹き、毎晩飲みに出かけることを楽しみにしているとのこと。「いつ休んでいるのやら。」と仲間内で噂になっているのは言うまでもない。

子育て論に至ってもユニークだ。「子供は200%の状態で生まれてくる天才。使わない部分が消滅されていくのだと思う。親としてできることは、その子の凄いやことを伸ばしてあげることが子育てだと思ふ。あとは一人で勝手に育っていくものだから。放任といえそうなるのかも知れないけれど。子供の能力がみんな平均的になることが必ずしも良いことだとは思っていない。私自身が子供の頃に違和感を感じていたから。」

「未来は子供達がつくっていく。わたし達大人ができることは、より良い環境づくりをしていくことだと思っています。」



松山 由美子

日本支援助言士協会®
幼保事業部 部長
巡回アドバイザー
保育士キャリア相談

愛着形成の大切さや子どものキャリアを見据えた教育など園内研修や職場の人間関係の改善を担当。



福岡 亜矢（日本支援助言士協会® 公認「保育のみらい」調査課長）元保育園園長。
保育士研修講師の傍ら、保育園の潜入調査（覆面保育士）を手掛け、現場のリアルを元に保育の質の向上を支援する。



要田 充重（日本支援助言士協会® 公認「保育のみらい」調査研究課長）元大手銀行職員。
保育園事務として保育園に勤務しながら理想の保育のみらいを思い描いている。



↑ 月1で開催している「勇気づけ保育士の会」の様子。



↑ （株）キッズアプローチでの研修。絵や色から深層心理を読み解く自己理解のワーク（描画法）の様子。写真左下：福岡氏

幼保事業部のサイト「保育のみらい」～人を育てる 未来を育てる～
<https://www.hoikunomirai.com>

お問い合わせはこちらまで↓
youho_shien@yahoo.co.jp

ホームページへ →



日本支援助言士協会® ～代表理事メッセージ～



佐藤 泰三 (さとう やすぞう)

日本支援助言士協会® 代表理事
元・味の素(株)営業部門人材育成責任者(部長)
アドラー・カウンセラー
国家資格キャリアコンサルタント
支援助言士(コミュニティ・カウンセラー)

*連絡先は6ページにてご案内

創設者で会長の鶴田恵美子のもと、2020年から代表理事を務めております佐藤泰三です。

当協会は、家族・職場をはじめとする様々なコミュニティの中の問題で悩む人々に、カウンセリングや予防的活動等を実践していく「支援助言士(コミュニティ・カウンセラー)」を育成し、勇気づけに満ちたコミュニケーションの実現を目指しています。

一人ひとりが、居場所を創り、夢と自律と相互支援のトライアングルを回して、自分らしい人生を人と協力しながら歩んでいける。そんな社会の実現に少しでもお役に立つよう貢献して参ります。

孤立しない アクティブシニアを 目指そう!

私は60代前半です。信じられないですが、もう人生の第4コーナーあたりにさしかかっているのです。

私が一番恐れているものは「孤立」です。

「孤立」の反対は、「居場所」があるということ。人は居場所があることで、自分には価値があると思え、自己受容感・肯定感も増していくものです。

家族はもちろん、外(社会)でも居場所のあるコミュニティを持つことが大切です。

私はアクティブシニアとして「居場所」づくりに大切な条件は、次の3つであると思っています。自分自身の行動指針にしています。

居場所づくり3条件

- ✓ 1. 「成熟期の見落としはない？」
自分の価値観(大切なこと、好きなこと)または持ち味・リソースを使いきる。
- ✓ 2. 「ビジネス感覚を磨いている？」
できれば価値を提供しその役に立ったお返しにの尺度として、わずかであってもお金を頂く感性を磨き続ける仕事を1つは持ち、マルチに活動する。「複業」→「福業」。
- ✓ 3. 「利他している？」
自己中心性から脱却し、人と協力・貢献しながら、自分の人生を主人公として生きることが、幸せに欠かせない土台である。

オヤジ・ アクティブシニア も応援したい!

50代初頭で転機を迎え、55歳で現在の第二の人生をスタートした私にとって、オヤジの第二の人生も応援したいと強く想っています。もしも「残りの人生をどうしていったらわからない…」という日が続いたら、まずは、当協会に来てみてはいかがでしょうか?

ここで、心理、対人関係、コミュニティづくりなどを学び、これからの自分らしい生き方・働き方について考え、動きながら、リニューアルしてみませんか!?

これをお読み頂いた方はオヤジ(夫・父・知人など)にも薦めてくださると嬉しいのです。

最後までお読みいただき、ありがとうございます。

支援助言士の活躍

case003

あべ なおこ

「ねばならない」かつての自分を「自己受容」、そしてカウンセラーになった今

良妻賢母で家事を完璧にこなし、自らに厳しい母の姿に、「こうあるべきだ」と尊敬の念を抱いており、「好きなことを仕事にする」などは到底考えもしないし、「私には事務職しかできない」と思い込んでいた。

アパレル会社勤務を経て、広告代理店、成長期のブランド会社、マスコミ関係の会社など、活気あふれる当時の日本社会の縮図がそのまま職場に反映されていた業界で、事務職として9年間勤務し、結婚後は専業主婦になり、夫の仕事を支えることに専念した。

「ねばならない」にがんじがらめだった自分自身、そして子への影響

うつ病になったのは子どもが小学2年生の頃だった。心療内科に通うものの診療や服薬では日々襲ってくる不安はかき消すことが出来なかった。自問自答が続いていたそんな時、知人から紹介されてカウンセリングを受ける。そのカウンセリングで、アドラー心理学の「家族布置」に触れ、厳しい親に育てられ3人兄弟の末子であるが故の「甘えたい自分」と、また「自立したい自分」が混在していることに気がつくことができた。「アドラー心理学」を知ったのはこの頃だが、知る程度にとどまる位だった。

5年後、子どもが不登校になったことを機に、再度カウンセリングを受けた。流れの中で(カウンセラーの)先生にアドラー心理学の勉強を薦められ、E.L.M講座を受講。その講座では、

子どもの問題ではなく、自分自身の問題であったこと、そして子どもに対して繰り返すダメ出しの行為は、「ねばならない」にがんじがらめであった自分自身の中に混在する「自信の無き」が招いていたことだった事に気づかされ、大きな衝撃を受けた。

行く先々で用意されていた縁

アドラー心理学の学びが深まっていくにつれ、子どもの様子も少しずつ快方に向かっていた。その頃から外で働きだし、出会う人、出会う人が、かつて不登校経験者であり、また真面目に頑張っている姿を見て「子どもの将来も大丈夫かも知れない」と勇気づけられることがとても多かった。

支援助言士(コミュニティ・カウンセラー)養成講座の存在を知り、受講する機会にも恵まれた。また、E.L.M講座を教えることが出来るE.L.Mリーダーの資格なども取得した。

資格を活かして、子育て講座を開催したり、子どもが通っていた塾進学個別校舎の非稼働時間に場所を借りて、E.L.M講座を開催するようになった。そのうち塾長の亀山先生から、「進学以外の相談はなかなか受けきれないので、親御さんの相談をお願いできないか。」とお声がかかった事をきっかけに、子どもたちの親のための「保護者カウンセラー」に就任した。

現在は、「進学個別校舎」の他、「自由塾 塾教室」の2つの塾でカウンセラー

リングを行っている。

「相談者はひっきりなしに訪れます。塾でのこういった取り組みは、需要の割に少ない。子どもの学習能力が伸びる手立てにもなっていることは間違いありません。」(写真右 亀山先生)

「拠り所になっているのかなど。親御さんにとって悩みが解決するきっかけにもなっている。子どもや親御さんのためになればという気持ちで取り組んでいます。」(写真左 吉元先生)

カウンセラーとして自立したのは2018年3月。そして、2019年に日本支援助言士協会の理事に就任した。

行く先々で用意されていた縁を振り返りながら、あべ氏は未来をこう語る。

「以前より日本支援助言士協会でも働きたいと思っていたけれど、まさかお声がかかるとは思っていませんでした。アドラー心理学をコツコツ学び続けて今の自分があるので、受講者視点で大切にしたい。一人一人にじっくりと学びが深まるように、より良い学びの場の提供に力を尽くしたいと思っています。」



あべ なおこ

- ・日本支援助言士協会 理事
- ・E.L.M勇気づけトレーナー
- ・SMILE講座リーダー
- ・支援助言士(コミュニティ・カウンセラー)
- ・P.E.T.親業訓練協会コンシェルジュ

【アドラー式不登校・ひきこもりのためのカウンセリング】
月2回 木曜日 支援助言士協会セミナールームにて開催中

◆詳細>>



写真:「POLAエスティンC. Crews」という、埼玉秩父市のショップで開催した、お得意様向けの子育て講座にて。(写真中央:あべなおこ氏)



写真左: 吉元 和彦 先生(自由塾 塾教室・教室長)
右: 亀山 卓郎 先生(進学個別校舎 上野桜木・代表取締役 塾長)

- 進学個別校舎ブログ: <http://ohgakusha.doorblog.jp/>
- 自由塾 塾教室 ブラボー先生®教育コラム: <http://jiyujiyuku.com/blog?category=16&page=0>

 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) メディカルスキング(株)アンズコーポレーション代理店 フェアトレード&SDGsセミナー講師 滝川 啓美 自分も楽しく、いい社会へ♪ 心身ともに健康で笑顔になるお手伝い ✉ hiromi.shien@gmail.com	 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) キャリアコンサルタント 菊地 昭雄 周りの人を元気にする!を モットーに活動しております。 ✉ jiji-pooh@hotmail.co.jp	 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) 勇気づけカラーヒーリング講師 服部 ゆう子 勇気づけとカラーヒーリングで自己 肯定感up!一歩を応援します ✉ hatori3718@gmail.com 🌐 https://ameblo.jp/lilas-color/
--	---	--

 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) 日本支援助言士協会® 理事 あべ なおこ 講座やカウンセリング、持続性のある 心理支援を提供しています! ✉ poopee705.hin@gmail.com ☎ 080-2214-4646 🌐 https://www.naoko-abe.com	 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) 日本支援助言士協会® 幼保事業部 保育のみらい 部長 松山 由美子 子ども達の幸せなみらいへ 園の巡回、運営支援、研修はこちらまで ✉ youho_shien@yahoo.co.jp ☎ 090-9321-9661 🌐 https://www.hoikunomirai.com	 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) 日本支援助言士協会® 広報事業部 部長 幸エンライトメント 代表 岡田 幸恵 「元気に生きる」が合言葉。 カウンセリング・勉強会を随時開催。 ✉ sachienlightenment@gmail.com ☎ 090-8859-2687
---	--	--

 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) 日本支援助言士協会® 会長 鶴田 恵美子 カウンセリングマインドを磨く、 心の居場所づくりをしています。 ✉ clip_acorn@nifty.com 🌐 https://ameblo.jp/emismileyokohama	 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) 日本支援助言士協会® 代表理事 佐藤 泰三 金儲けより夢儲け!勇気づけに満ちた人・ コミュニティ創りに邁進 ✉ yokohama2059mirai@88.netyou.jp 📱 yasuzo.sato1	 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) 日本支援助言士協会® 業務執行理事 Happy Life Labo 代表 小野寺 美和 「ほめ方・ほめられ方」「対話の場づくり」 をお伝え致します。 ✉ happylifelabo@gmail.com 🌐 https://happylifelabo.net 📱 miwa.onodera1
---	---	--

 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) 社団法人エスロン 介護支援推進部リーダー 松原 マコミ 介護中の方などの支援を目的に情報提供・ 伝え合いノートの推進をしています。 ✉ matsubara.apron2019@gmail.com ☎ 090-9347-9815 🌐 apron2019.hatenablog.com	 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) ミネラルアドバイザー、モンテッソーリ教育 笹村 房子 からだに必要な栄養素が入り、 自分で考え行動出来る。 Happy子育てのお手伝い!! ✉ 2350fusa207@gmail.com	 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) 心のオアシス まこコミュニケーション 主宰 山本 雅子 笑顔の毎日が過ごせますように 皆様のサポートをさせていただきます。 ✉ wonderfullife0221@gmail.com ☎ 090-3088-2165 🌐 https://oasisforyouandme.com
---	---	---

 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) 暮らしのグリーフみなど ファシリテーター 武中 郁恵 自分の居場所を自覚することで 未来のビジョンを創りましょう ✉ y.tanashi-963@docomo.ne.jp	 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) 一般社団法人ル・ミストラル 代表理事 大橋 恵子 豊かな人生を送りたい方の自立した 生活・就労を支援しています。 ✉ lemistral32125@outlook.com ☎ 045-353-7914	 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) 日本個人心理学会 会員 水野 昌幸 婚活支援クリエイターとして婚活を 専門に、子育てもサポート! ✉ manifest_destiny_imperialism@yahoo.co.jp
--	---	--

 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) コミュニティルーム Anone 三橋 和枝 ありのままの自分を受け入れ自分ら しく輝くためのサポートを致します。 ✉ kazue720.masa@gmail.com ☎ 090-4007-5474	 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) ベビーマッサージぽかぽか 齋藤 あき子 世界中の子どもを笑顔に!アドラー流 子育て方をお伝えしています ✉ akiko@cocoro-sukkiri.com 🌐 https://cocoro-sukkiri.com ☎ 080-5173-1678	 支援助言士(コミュニティ・カウンセラー) hoiku patio 栗原 佳子 子育て・保育に役立つ技術とマインドを 講座や研修などでお伝えしています。 ✉ patio.baby@gmail.com 📱 hoikupatio
--	--	--



支援助言士(コミュニティ・カウンセラー)の資格に、
興味が湧きました!
取得したいけど、どうすれば・・・?

春と夏に
開催!

新・支援助言士養成講座 説明会にご参加ください



- 第1部: ミニ講座:「コミュニティで活躍する人のとっておきのコツ!」 鶴田 恵美子
第2部: ミニ講座:「勇気が湧き上がるアドラー心理学7つの習慣!」 佐藤 泰三
第3部: 第18期(5月～)、第19期(10月～)「支援助言士(コミュニティ・カウンセラー)養成講座」のご案内
- 日時: ご都合のよい日をいずれか1つお選びください。

【第18期向け】

- ① 2020年3月1日(日) 14:00～15:30 (13:40開場)
- ② 2020年3月3日(火) 14:00～15:30 (13:40開場)
- ③ 2020年3月4日(水) 19:00～20:30 (18:40開場)

【第19期向け】

- ④ 2020年8月1日(土) 14:00～15:30 (13:40開場)
- ⑤ 2020年8月3日(月) 14:00～15:30 (13:40開場)
- ⑥ 2020年8月5日(水) 19:00～20:30 (18:40開場)

注:日程変更が生じる場合がありますので、当協会のホームページでお確かめの上、お申込みください。

- 会場: 当協会セミナールーム(横浜駅西口徒歩11分)
- 参加料: 1,000円 (当日支払い)



養成講座の概要へ

詳しくはこちら

支援助言士協会

検索



ホームページ www.sienjogensi.org

おさえおきたい
アドラー心理学

ハッピーオーラに包まれる対話の場♪

1日で学べるアドラー心理学入門講座

1日で「対人関係の改善」を中核としたアドラー心理学の概要が修得できます。

- 日程: ・1回目 2020年4/11(土) ※ いずれかを受講してください。
・2回目 2020年9/12(土) (内容は同じ)
- 時間: 10:00～17:00 (開場9:40)
- 会場: 当協会セミナールーム(横浜駅西口徒歩11分)
- 受講料: 15,000円 (事前支払)

詳細へ



講師 鶴田 恵美子

アドラー心理学に基づく
各種カウンセリングサービスも
提供しております!

- ▶ 各種対人関係(親子・夫婦・職場)
- ▶ キャリア(生き方・働き方)
- ▶ 不登校・引きこもり

詳細へ

